

「令和7年度 京都市北部山間地域の地域資源を活かした体験コンテンツ開発業務委託」公募型プロポーザルの実施に係る質問に対する回答

番号	項目	質問	回答
1	仕様書4(1)	専門家を招聘する場合の謝金の支払い額は、1回あたりいくらを想定していますか。 ワークショップの人数は、何人程度を想定していますか。	専門家を招聘する場合の謝金の支払額は、本市の付属機関の委員報酬である日額10,000円程度を想定しています。 また、ワークショップの人数は、運営側を除いて、最大20名程度を想定しています。
2	仕様書4(2)	「現地踏査を適宜実施すること」とあるが、何回程度を想定していますか。	現地踏査は、1～2回程度を想定しています。
3	仕様書4(3)	民間企業等への聞き取り調査の数および回数について教えてください。	聞き取り調査は、民間企業等5者程度を想定しており、各者に1～2回程度の回数を想定しています。
4	仕様書4(3)	モニターツアーの参加者数は、何名程度を想定していますか。 モニターツアー参加者の参加費用及び保険費用は、本業務費に含まれていますか。	モニターツアーは、参加者10～15名程度を想定しています。 また、モニターツアーの実施に必要な費用(集合場所からの車両費・保険費など)は、業務費に含まれています。
5	仕様書4(2)	新ルートを作成する上で、土地所有者等の承諾が必要な場合も多いと思いますが、その点については承諾済みの土地から選ぶのでしょうか。	新ルートの提案時点では、土地所有者の承諾は不要です。 ただし、指定時には、土地所有者の承諾が必要となりますので、その点を踏まえて取りまとめていただく必要があります。
6	仕様書4(2)	京都トレイルのルート上にという記載があり、山村交流の森周辺のコンテンツ作成とあります。 新ルートは、山村交流の森周辺(森林エリア内トレッキングルートマップ)を参照にするのでしょうか。	新ルートは、山村都市交流の森を中心とする魅力ある地域資源をめぐるルートとし、かつワークショップでの議論及び現地踏査を踏まえたルート案として取りまとめてください。(複数想定)
7	仕様書4(3)	森林文化(大悲山峰定寺、花脊の三本杉)及び自然環境(八丁平湿原、峰床山)のいずれかを盛り込んだもので3案以上と記載があります。 すべて、京北や花脊エリアの付近で提案するのでしょうか。	山村都市交流の森を中心とするエリアで提案をお願いいたします。
8	仕様書4(3)	3案は山村交流の森を活用する案でしょうか。日帰りとありますが、拠点は京都駅付近を起点でしょうか。	山村都市交流の森のみ、又は山村都市交流の森とその周辺エリアを活用する案の御提案をお願いいたします。 起点の指定は特にありませんが、国内外の富裕層をターゲットとするため、京都駅など市内で集合しやすい場所をスタートとしてください。